

特別展 陶器が語る来世の理想郷

中国古代の暮らしと夢

—建築・人・動物—

平成18年10月7日(土)～12月10日(日)
大倉集古館



財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)
TEL03-3583-0781
<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/>

アメリカ大使館

大倉集古館

ホテルオークラ東京本館

ホテルオークラ東京別館

特別展 陶器が語る来世の理想郷

中国古代の暮らしと夢

—建築・人・動物—

平成18年10月7日(土)～12月10日(日)

～テーマは生きる喜び～

古代中国の人々は、人間の魂は不滅で、墳墓がその永久の住まいであると考えました。明器はそこに納められた副葬品の一種で、地下の世界に、現世の生活、それも「生きる喜び」にあふれた理想の生活を再現するために、陶器などの実際とは異なる素材を用いて、人や家畜、建物の形を写したものです。彼らが来世に持って行きたいと願った生活情景の数々は、必ずや現代の我々の共感をよぶことでしょう。

主な展示品

水榭（池中の楼閣） 緑釉陶 後漢 個人蔵

解牛・解猪（牛豚の解体） 緑褐釉陶 後漢 個人蔵

猪圈（廁つき豚小屋） 灰陶 後漢 個人蔵

犬 灰陶 北魏 個人蔵

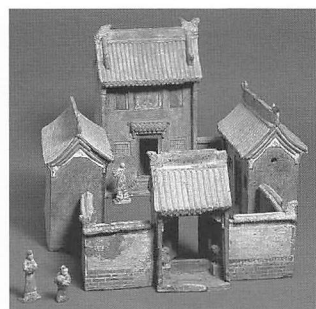
鎮墓獸 加彩 北齊 個人蔵

鶏 黄釉陶／褐釉陶 唐 個人蔵

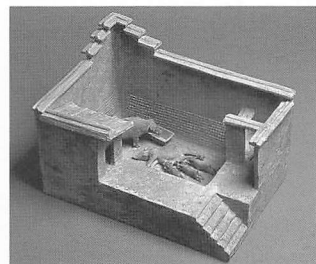
駱駝 黄釉 唐 大倉集古館蔵

仕女・御者・馬 灰陶 元 個人蔵

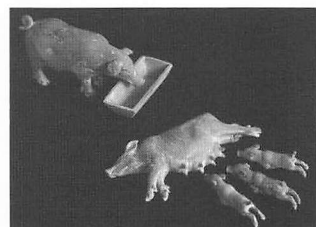
住居 加彩 明 個人蔵



住居 加彩 明 個人蔵



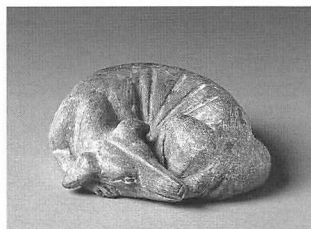
猪圈（廁つき豚小屋） 灰陶 後漢 個人蔵



猪圈（廁つき豚小屋）の部分 灰陶 後漢 個人蔵



仕女・御者・馬 灰陶 元 個人蔵



犬 灰陶 北魏 個人蔵



解牛・解猪 緑褐釉陶 後漢 個人蔵

主催：大倉集古館

協力：(株)ホテルオークラ東京

開館時間：10:00～16:30（入館は16:00まで）

休館日：月曜日（ただし祝日の場合は開館）

入場料：一般 1000円

大学・高校生・65歳以上 800円

中学生以下 無料

土・日曜は高校生以下の生徒と引率の両親・教師無料

20名様以上の団体は100円引

*ホテルオークラ東京とのセット鑑賞券（優待券との併用はできません）

喫茶券 ¥1600 / 昼食券 ¥3200

ギャラリートークのお知らせ

会期中に展示作品に関するギャラリートークを行う予定です。

日時、講師についてはお問い合わせ下さい。

次回展示のお知らせ

2007年1月2日(火)～3月18日(日)

館蔵 花鳥画展

花や鳥を描いて自然を愛でる花鳥画は、もとは中国絵画における主要な画題のひとつとして唐末ごろにジャンルとして成立し、宋代には隆盛を極めました。モチーフへの客観性、写実性を特色とする中国のものに比べて、我が国では特に近世以降、四季の花鳥風月を理想化、装飾化して描き出す独自の展開を遂げています。日本のみならず東洋で広く愛される花鳥画の華やかで繊細な世界を、館蔵品により展覧いたします。



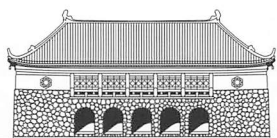
交通案内 東京メトロ

日比谷線 神谷町駅より7分

銀座線・南北線 溜池山王駅より8分

銀座線 虎ノ門駅より10分

南北線 六本木一丁目より5分



財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3（ホテルオークラ東京本館正面玄関前）

TEL03-3583-0781

ホームページ <http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/>